

令和5年3月15日（水曜日）

予算決算委員会建設分科会

第5委員会室

出席議員

重田一政、山口 悟、白井義一、三輪敏之、
井川一善、井上太良、松岡廣幸、三木和成、
金内義和

【建設委員会（都市局）の審査】

開会

11時02分

都市局

11時02分

送付議案説明

- ・議案第 1 号 令和5年度姫路市一般会計予算
- ・議案第 10 号 令和5年度姫路市都市開発整備事業
会計予算
- ・議案第 13 号 令和4年度姫路市一般会計補正予算
(第9回)

質疑

11時21分

(質問)

危険ブロック塀等撤去支援事業費について、半径
500メートルとの説明があったが、学校からなのか。

(答弁)

そのとおりである。

(質問)

学校から 500メートル以上離れている地区の子ど
もが遊ぶエリアは対象外なのか。

(答弁)

対象外である。

当初の制度では、通学路のみを対象にしていたが、
帰宅時に通学路を通らない子どもがいるので、令和5
年度から、通学路に加えて学校から半径500メートル
にある道路に面した危険ブロック塀等も対象に加え
ている。

(質問)

対象範囲をもう少し拡充する考えはないのか。

(答弁)

国の補助対象事業であり、拡充したいという思いは
持っているものの、対象範囲を絞らず、全市域を対象
とすることは助成件数の想定ができないため困難で
ある。

(要望)

危険性のあるブロックは、いまだに目につくが、通
学路でもなく、助成金もなければ、地域でもその所有
者に指摘しにくいところがある。

次年度以降も少しでも対象範囲を拡充できるよう
検討をしてもらいたい。

(質問)

老朽危険空家対策について、令和5年度予算は令和
4年度から約1,000万円の増額となっているが、令和
4年度の補助実績について説明してもらいたい。

併せて、令和5年度の見込みについても説明して
もらいたい。

(答弁)

令和4年度は、自治会向け14件、個人向け50件の
申込みがあり、補助額の合計は約3,400万円であった。

令和5年度は、自治会向け10件、個人向け72件の
補助件数を想定した予算額としており、令和4年度
のように6月中旬で予算上限に達することはないと考
えている。

(要望)

老朽危険空家については、全国的にも大きな問題と
なり、認知度も高まっているため、さらに補助件数は
増えると考えている。

丁寧に対応しながら、少しでも多くの方が補助制度
を利用できるように取り組んでももらいたい。

(質問)

危険ブロック塀等撤去支援事業費は、令和4年度予
算から約400万円増額しているが、補助対象を拡大し
たためか。

(答弁)

そのとおりである。

(質問)

国庫補助金を受けるには、通学路を対象とするなど
の条件があるのか。

(答弁)

高槻市の小学校のブロック塀倒壊を受け、補助を行
っているものであるが、国の要綱では、通学路に限定
はしていない。

(質問)

通学路は優先して対応すべきだと考えるが、それ以
外にも危険なブロック塀は数多くある。

歩行者は子どもだけでなく、高齢者も多くいるので、老朽危険空家のように危険度で判断してもよいと思うがどうか。

(答弁)

本来、個人所有物のブロック塀の安全性が確保できていないのであれば、その所有者が賠償責任を負うものであるが、市民の安全を早急に確保する観点から補助制度を設けている。市全域を対象を広げるということは現時点では困難であるが、国の動向を注視しながら少しずつ対応している。

(要望)

危険なブロック塀撤去の呼び水とするためにも市全域での実施を検討してもらいたい。

(質問)

地方バス路線維持経費について、令和5年度予算として約4億4,000万円が計上されているが、当該経費は、令和4年度が約4億5,000万円、令和3年度が3億円台と変動している。

決められた計算方法によると思うが、地域からバス路線が減っているとの声がある中で、路線を拡大していく経費は計上されていないという認識でよいか。

(答弁)

令和4年度予算から減少しているのは、バス路線の再編に伴うもので、利用者の少ない市西部の路線や姫路駅からSPRING-8への路線が廃止となったため、補助金が減少している。

バス路線は、現状維持を目標として取り組んでいるが、公共交通空白地域については普通の路線バスではなく、デマンドバス、デマンドタクシー等を活用した支援をしていきたいと考えている。

(質問)

当該経費以外にもデマンドバス等の経費を計上しているのか。

(答弁)

地域公共交通運営経費の中で1億1,100万円を計上している。

(質問)

令和4年度と比較してどうなのか。

(答弁)

ほぼ同額である。

(質問)

高齢化が進む中で地域公共交通は守っていかなければならないと考えている。

例年と同規模、一部減少しているような予算で地域公共交通を維持改善していけるのか。

(答弁)

公共交通空白地域については、例年と同規模の予算であるが、デマンドバス等の導入を検討していく。

また、2010年に姫路市営バスから路線移譲以降、1日平均4万人程度あった利用者がコロナ禍で令和2年度は2万7,000人程度まで落ち込んだバス事業者への補助金を増額している。

あわせて、予算計上はしていないが、バスの乗り方教室や市政出前講座等の事業により既存のバス路線の利用促進を図っていききたいと考えている。

(要望)

私の住む地域でも病院の往復に路線バスを利用しているが、2時間待たないとバスに乗れないという高齢者の声を聞く。

額が多ければよいというものではないが、その辺も踏まえた予算を考えてもらいたい。

(質問)

JR網干駅前土地区画整理事業費の繰越明許費補正について、遺跡等の発見があり事業が前に進まないと聞いているが、発掘調査に係る費用は計上しているのか。

(答弁)

計上している。

(質問)

耐震診断助成事業費補助金は、かなり以前から実施しているが、近年の利用者の増減について説明してもらいたい。

(答弁)

耐震診断に加えて耐震改修に係る事業を行っているが、共に減少傾向である。

(質問)

いつ頃から実施しているのか。

(答弁)

耐震診断については平成16年から、耐震改修については、平成26年から実施している。

(要望)

惰性的に続けるのではなく、県とも協調しながら、

もっと大々的に実施するなど方向性を示してもらいたい。

(質問)

令和5年4月から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されるが、姫ちやり利用者がヘルメット持参で借りることは考えにくい。

ヘルメットも自転車と併せて貸し出すのか。予算措置と併せて説明してもらいたい。

(答弁)

ヘルメットを備え付けることは、衛生面や盗難等の管理コストの課題がある。

現在、シェアサイクル事業を実施している自治体は、約170あり、市役所のポートだけヘルメットを備え付ける自治体もあるようだが、その多くは利用者への意識啓発にとどまるようである。

本市としても4月以降は利用者にヘルメット着用の啓発を図っていく。

(質問)

貸出場所で「乗車時はヘルメットをしましょう」というような啓発を行うということか。

(答弁)

姫ちやりの貸出しポートやホームページ上で啓発したいと考えている。

(要望)

事故の際は命にもかかわるものであり、丁寧に啓発してもらいたい。

(質問)

危険ブロック塀等撤去支援事業費について、どのような経緯で対象範囲を拡大したのか。

(答弁)

事業開始当初から子どもが通学路以外を歩いているという声や通学路が明確に決まっていない地区がある中で、まずは、通学路に面したブロック塀を対象として開始したものである。

兵庫県の同事業は終了したが、国の補助制度を活用しながら、少しずつ対応しているところである。

退職者挨拶

都市局終了

11時58分

【建設委員会（建設局）の審査】

建設局

14時03分

送付議案説明

- ・議案第1号 令和5年度姫路市一般会計予算
- ・議案第13号 令和4年度姫路市一般会計補正予算（第9回）

質疑

14時28分

(質問)

令和5年度予算として計上されている排水路整備事業費の中に大津区天満地内、長松地内とあるが、具体的な場所はどこなのか。

(答弁)

天満地内は、山陽電車の山陽天満駅の北付近である。
長松地内は、大津148号線と西汐入川の交差する橋の付近である。

退職者挨拶

建設局終了

14時38分

散会

14時38分